



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7476 URL https://www.as-1.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井内 卓嗣
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営企画本部長 (氏名)小野 元孝 (TEL) 06-6447-1210
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,416	3.5	5,794	7.7	5,975	8.3	4,028	7.4
2019年3月期第3四半期	47,749	10.5	5,383	19.1	5,515	17.8	3,750	18.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,727百万円(110.2%) 2019年3月期第3四半期 2,724百万円(△29.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	215.81	215.53
2019年3月期第3四半期	200.90	200.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	77,684	56,124	72.1
2019年3月期	78,773	53,252	67.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 56,004百万円 2019年3月期 53,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	70.00	—	71.00	141.00
2020年3月期	—	83.00	—		
2020年3月期(予想)				84.00	167.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,550	7.2	8,850	17.0	9,120	17.7	6,250	18.7	334.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,688,135株	2019年3月期	20,688,135株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,020,748株	2019年3月期	2,021,083株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	18,667,266株	2019年3月期3Q	18,666,948株

(注) 期末自己株式数においては、株式給付信託 (取締役向け) 及び株式給付型E S O P信託の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) が所有している当社株式 (2020年3月期3Q 39,160株、2019年3月期 39,720株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日、以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、良好な雇用環境が景気の下支えとなっている一方、米中貿易摩擦等に起因する海外経済の減速懸念から輸出や生産に弱さが見られたのに加え、消費税増税時期を挟んだ駆け込み需要やその反動減などにより先行き不透明な状況が続きました。

また、当第3四半期は例年より営業日数が5日少ない連結累計期間となりました。

このような事業環境のもと、当第3四半期の連結売上高は、494億16百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。この要因としては、eコマース型集中購買やネット通販業者向け売上が引き続き伸張していること、品揃えが400万点超に増えたWEB上のみの取扱商品の売上が新規の売上獲得に貢献していること、新規商材として取り組んでいる介護施設向けや工場向けMR Oサプライ品、レンタルや校正サービスなどが伸張したこと等があげられます。

なお、当社は日々使用される消耗品を日々ご注文いただく業態であり、営業日数の増減に、売上高の増減が少なからず連動する傾向があります。参考までに、1日当たりの売上高で比較すると下表のようになります。

単位：百万円

	2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期
売上高	37,552	39,253	43,209	47,749	49,416
前年同期比	103.5%	104.5%	110.1%	110.5%	103.5%
国内営業日数（日）	180	180	183	183	178
（前年同期比増減）	(△2)	(－)	(+3)	(－)	(△5)
1日当たり売上高	208	218	236	260	277
前年同期比	104.7%	104.5%	108.3%	110.5%	106.4%

また、第2四半期後半においては、消費税増税に関連した前倒しと見られる駆け込み需要があったと見られ、消費税増税以降は反動減と見られる影響が少なからずありました。

販売費及び一般管理費につきましては、97億53百万円（同1.9%増）と前年同四半期比1億80百万円の増加にとどまりました。単価上昇も含めた運賃及び保管費等による増加があった一方、それ以外はカタログ発刊費用の減少もあり、全体として計画内の抑制的な運用ができました。

この結果、営業利益は57億94百万円（同7.7%増）、経常利益は59億75百万円（同8.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億28百万円（同7.4%増）となりました。

部門別の状況及び中期経営計画売上施策の進捗状況は、以下のとおりです。

<研究・産業機器部門>

科学機器分野では、実験用の工具やワゴンなどの実験設備品、分析用消耗品等の引合いが増えました。販売チャネルとしては、引き続きeコマース型集中購買及びネット通販業者向けが増えました。これらにより当分野の売上高は285億66百万円（同5.0%増）と底堅く推移しました。

また、製造現場を対象とする産業機器分野は、クリーンルーム用品や汎用機器の伸びが減速したものの、分析用消耗品や環境測定機器類、工場向けMROサプライ品の引合いが増えました。販売チャネルではネット通販業者向けが引続き拡大しております。一方で、全体としては産業界の景況感の後退や消費税増税以降は反動減と見られる影響もありました。これらにより当分野の売上高は109億25百万円（同0.9%減）となりました。この結果、当部門の当第3四半期の売上高合計は394億92百万円（同3.3%増）となりました。

<病院・介護部門>

病院・介護部門では、消耗品、ウェア類、院内感染防止器具等の引合いが増えました。販売チャネルとしては、掲載品を拡充したネット通販業者向け及び介護施設向けが伸張しました。また、2019年11月に新商品を多数掲載した2,000頁超の医療機関向け総合カタログ「ナビス 看護・医療用品総合カタログ」及び「ナビス クリニック用・医療用品総合カタログ」を発刊し、全国の医療機関に配布し、新商品の販促活動を開始しました。一方で、全体としては消費税増税以降は反動減と見られる影響もありました。これらにより当部門の当第3四半期の売上高は96億6百万円（同4.3%増）となりました。

<その他>

子会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは、「OffSide」システムにより理化学機器・消耗品等のWEB購買代行サービスを運営しております。そのシステム利用料としての当第3四半期の売上高は3億17百万円（同0.9%増）となりました。

<中期経営計画売上施策の進捗状況>

中期経営計画で掲げる売上3施策は、以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
eコマース	7,810	9,226	118.1
海外事業	2,817	2,741	97.3
新規商材	2,049	2,617	127.7
3施策合計	12,677	14,585	115.1

尚、海外事業につきましては、大学や研究機関を中心とする中国におけるローカルユーザー向け売上は伸張したものの、中国における日系企業向け売上が奮いませんでした。また、日本からの中国以外のアジア地域等への輸出は、海外経済の減速の影響を一部受けました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、776億84百万円（前連結会計年度末比10億88百万円減）となりました。このうち流動資産は、446億46百万円（同28億18百万円減）となりました。これは、主として現金及び預金が29億14百万円減少し、受取手形及び売掛金が23億43百万円減少した一方、有価証券が投資有価証券からの振替により20億円増加したこと等によるものであります。固定資産は、330億37百万円（同17億29百万円増）となりました。これは、主として来年度稼働を予定している新物流センターに設置する設備の中間金払い等によりその他の有形固定資産が15億54百万円増加したこと、建物及び構築物が4億1百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、215億60百万円（同39億61百万円減）となりました。このうち流動負債は、185億2百万円（同42億45百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が20億94百万円減少したこと、未払法人税等が9億64百万円減少したこと、投資有価証券の取得に伴う未払金を含むその他の流動負債が7億30百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、30億57百万円（同2億84百万円増）となりました。これは、主として繰延税金負債が8億74百万円増加した一方、長期借入金が5億75百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、561億24百万円（同28億72百万円増）となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が17億27百万円増加したこと、利益剰余金が11億47百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

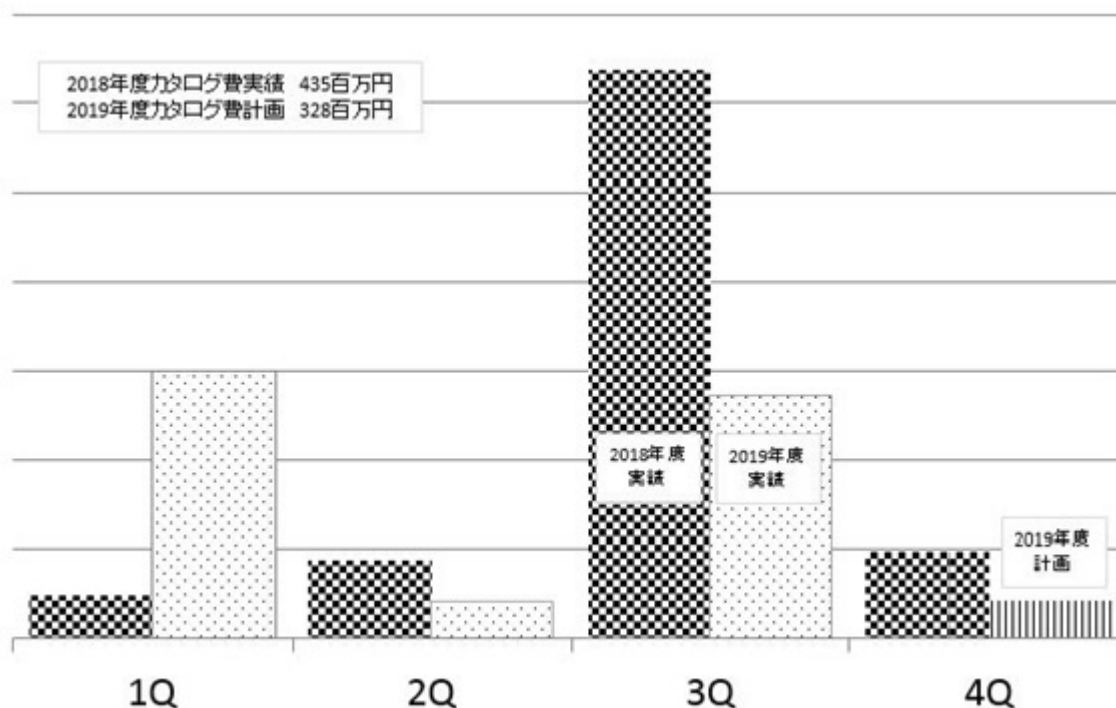
10月以降は消費税増税に伴う反動減や米中貿易摩擦等による産業界の景況感の後退等により、成長鈍化した側面がありました。しかしながら、eコマースユーザーの増加や掲載商品数の増加、例年以上のキャンペーンや受注活動の強化等の営業施策等により、年度末需要を積極的に受注していく予定です。従って、通期業績につきましては、2019年5月13日公表の業績予想に変更はありません。

また、第3四半期以降の国内営業日数は、以下のとおりの予定であります。

	10月～12月	1月～3月	合計
2019年3月期	62日	57日	119日
2020年3月期	61日	58日	119日
前年同期比増減	△1日	+1日	±0日

なお、当社の場合、カタログの発刊時期により四半期毎のコストが変化する傾向がありますので、予測に関しましては下図を参考にしてください。

(四半期毎のカタログ費イメージ)



(注) この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などによりこの資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,706,931	9,792,349
受取手形及び売掛金	19,296,067	16,952,592
電子記録債権	6,523,510	6,534,061
有価証券	1,000,000	3,000,000
たな卸資産	7,463,815	7,832,933
その他	482,161	540,657
貸倒引当金	△7,209	△5,717
流動資産合計	47,465,276	44,646,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,166,046	2,567,378
土地	2,021,463	2,021,463
その他（純額）	1,159,680	2,714,343
有形固定資産合計	5,347,190	7,303,185
無形固定資産		
のれん	1,026,110	940,601
その他	983,614	1,268,392
無形固定資産合計	2,009,725	2,208,993
投資その他の資産		
投資有価証券	19,131,724	18,742,725
繰延税金資産	36,743	28,636
投資不動産（純額）	4,081,224	4,033,384
その他	722,090	764,699
貸倒引当金	△20,334	△43,661
投資その他の資産合計	23,951,447	23,525,784
固定資産合計	31,308,363	33,037,963
資産合計	78,773,639	77,684,840
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,449,828	15,355,105
短期借入金	940,000	800,000
未払法人税等	1,513,342	548,470
賞与引当金	691,832	375,833
その他	2,153,155	1,423,114
流動負債合計	22,748,158	18,502,524
固定負債		
長期借入金	1,100,000	525,000
繰延税金負債	140,822	1,015,675
株式給付引当金	114,456	111,332
役員株式給付引当金	33,480	33,480
退職給付に係る負債	43,042	12,575
資産除去債務	661,230	664,083
その他	680,245	695,648
固定負債合計	2,773,277	3,057,795
負債合計	25,521,436	21,560,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	4,452,559	4,452,559
利益剰余金	45,910,404	47,058,092
自己株式	△5,918,551	△5,917,507
株主資本合計	49,519,412	50,668,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,575,276	5,302,768
繰延ヘッジ損益	1,841	27,873
為替換算調整勘定	60,978	5,944
その他の包括利益累計額合計	3,638,096	5,336,586
新株予約権	94,693	119,790
純資産合計	53,252,203	56,124,520
負債純資産合計	78,773,639	77,684,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	47,749,241	49,416,954
売上原価	32,792,725	33,868,120
売上総利益	14,956,515	15,548,833
販売費及び一般管理費	9,573,475	9,753,854
営業利益	5,383,039	5,794,979
営業外収益		
受取利息	47,632	52,563
受取配当金	18,901	23,336
不動産賃貸料	278,432	311,144
その他	26,315	25,196
営業外収益合計	371,281	412,240
営業外費用		
支払利息	23,220	15,070
不動産賃貸原価	141,172	146,160
固定資産除却損	60,228	6,260
その他	14,015	64,646
営業外費用合計	238,635	232,137
経常利益	5,515,684	5,975,081
特別損失		
投資有価証券評価損	—	76,000
特別損失合計	—	76,000
税金等調整前四半期純利益	5,515,684	5,899,081
法人税、住民税及び事業税	1,710,884	1,760,771
法人税等調整額	54,265	109,792
法人税等合計	1,765,150	1,870,564
四半期純利益	3,750,534	4,028,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	410	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,750,123	4,028,517

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,750,534	4,028,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,033,309	1,727,491
繰延ヘッジ損益	47,225	26,031
為替換算調整勘定	△40,076	△55,034
その他の包括利益合計	△1,026,160	1,698,489
四半期包括利益	2,724,373	5,727,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,723,963	5,727,007
非支配株主に係る四半期包括利益	410	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売実績

a. 部門別販売実績

部門	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
研究・産業機器部門	38,223,068	80.0	39,492,196	79.9
病院・介護部門	9,211,261	19.3	9,606,991	19.4
その他	314,911	0.7	317,766	0.7
合計	47,749,241	100.0	49,416,954	100.0

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する得意先への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。
 3. その他は株式会社トリアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。

b. 品目別販売実績

品目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	5,599,812	11.7	5,439,449	11.0
分析、特殊機器・装置	7,967,194	16.7	8,746,741	17.7
物理、物性測定機器・装置	3,048,615	6.4	2,868,588	5.8
実験用設備機器	3,825,743	8.0	4,443,154	9.0
小計	20,441,366	42.8	21,497,933	43.5
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	12,695,826	26.6	12,875,787	26.0
半導体関係特殊器具	6,075,244	12.7	5,812,965	11.8
小計	18,771,071	39.3	18,688,752	37.8
看護・介護用品	8,221,892	17.2	8,912,501	18.0
その他	314,911	0.7	317,766	0.7
合計	47,749,241	100.0	49,416,954	100.0

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。
 3. その他は株式会社トリアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。